

第1回男性の暮らし方・意識の変革に関する専門調査会

男性の家庭参加革命 次世代育成の必要性

NPO法人tadaima! 三木智有

目次

■ 自己紹介

■ 男性が能動的に家事育児に関わるための課題

■ NPO法人tadaima!の事例

■ 男性が能動的に家事育児に関わるために できること

自己紹介



三木智有

NPO法人tadaima!代表理事
家事シェア研究家
子育てモヨウ替えのコンサルタント
インテリアコーディネーター

経歴

2005年よりフリーランスのインテリアコーディネーターとして活動開始。

2011年、人にアプローチして住みやすい家を創るため、NPO法人tadaima!を設立。
「ただいま」と帰りたくなる家庭を実現するには、男性が家庭をもっと楽しむ必要を感じ
「関係(家事シェア)」と「環境(インテリア)」の両面からサービスを展開。
「花王社会起業塾イニシアティブ2011」選出。
Lion株式会社ソフランおうちむのプロモーションなど、企業と連携をして家事シェアを推進中。

自己紹介

NPO法人tadaima!のビジョン

10年後、20年後も
“ただいま！”って帰りたくなる家庭にしよう

「住まい手にとって居心地の良い空間をつくりたい」

でも、そこで出会ったのは

「家に居場所がない」「居場所を諦めている」「興味も関心もない」
というパパの姿

自己紹介

子育て家庭の 「ただいま！」を実現する3つの事業

家事シェア プロモーション事業

父子の家事を日常に

家事シェアを推進していく意識改革プロモーション。
パパ・ママ向けの家事シェア講座等

子育て家庭の モヨウ替え

家族でつくる”暮らしの舞台”

子育て家庭のためのモヨウ替えコンサルティング
家事育児動線の改善・夫婦コミュニケーションの促進

KIDS家事 PROJECT！

「できた！」と「ありがとう！」が飛び交う毎日を。

親子で共に学び、楽しむ。親子向け家事講座。
子どもの家事体験機会の促進

第1回男性の暮らし方・意識の変革に関する専門調査会

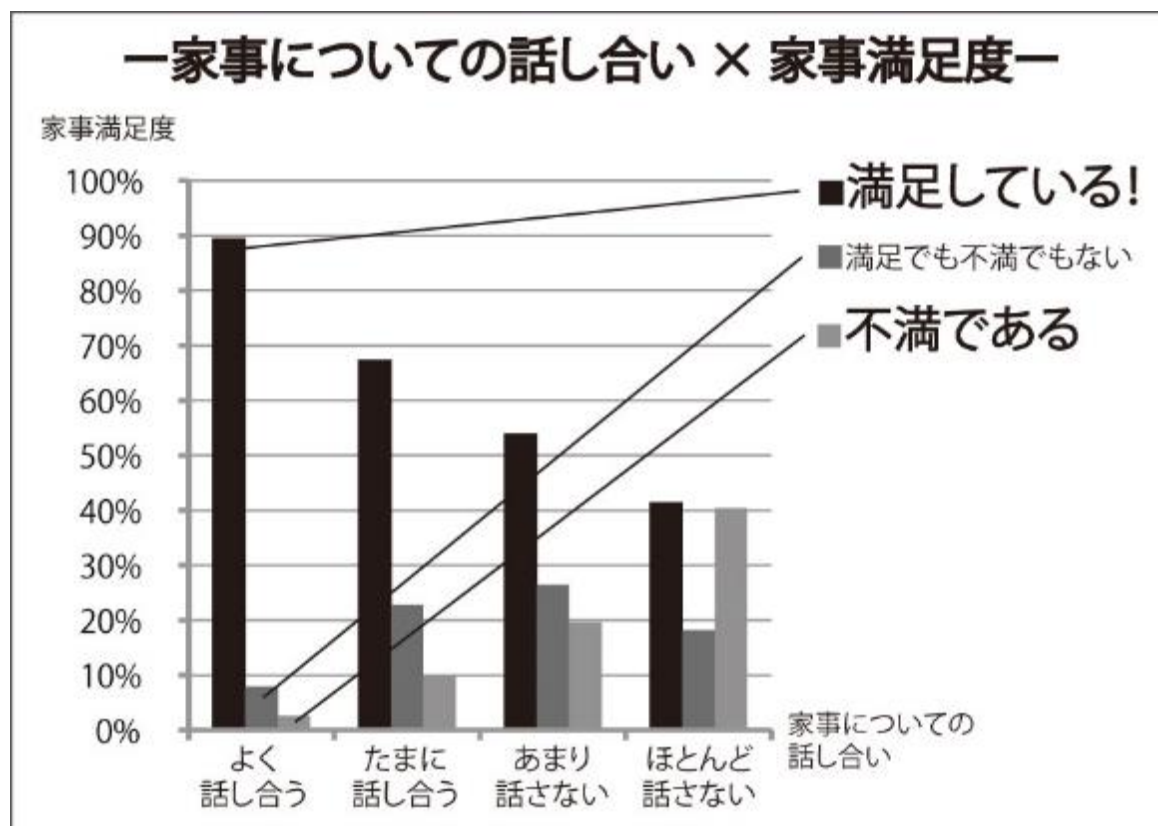
男性が能動的に家事育児に関わるための課題とは？

男性が能動的に家事育児に関わるための課題

男性の家事育児“時間増加”ではなく、
夫婦の“家事育児不満の解消”を目的としてきました。

男性が能動的に家事育児に関わるための課題

家事育児不満の解消に必要なのは、
夫婦の家事コミュニケーションです。



※出展：NPO法人tadaima!“家事シェア白書より”

パパが抱える3大家事育児不満

- 時間がない
- スキルがない
- やりたくない



ママが抱える3大家事育児不満

- 自分ばかりが感じるプレッシャー
(自覚を通り越しての義務感)
- 自分ばかりが時間の捻出義務を背負う不公平感
(夫への信頼貯金の減少)
- 自分ばかりが家庭にとらわれなくてはならない不安
(社会から取り残される不安)



家事育児の不満とは

- 男性（家事育児をしていない方）

相手のニーズにうまく応えられていない事

- 女性（家事育児に主体的な方）

相手が自覚を持って家事育児に取り組んでくれない事

男性が能動的に家事育児に関わるための課題

自覚＝有用感



第1回男性の暮らし方・意識の変革に関する専門調査会

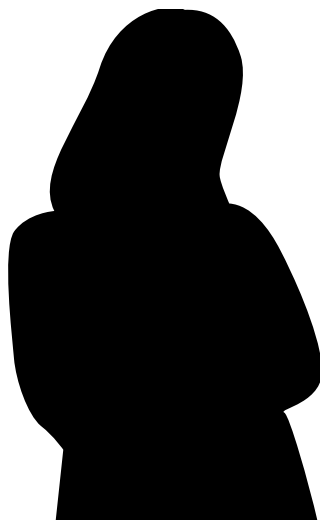


NPO法人tadaima!の事例

子育て家庭のモヨウ替え

暮らしの舞台を家族で作り、
コミュニケーションのきっかけを生み出す
子育て家庭のモヨウ替え

漠然としたテーマ



家事育児
の話し



具体的なテーマがないと
コミュニケーションは生まれない

個別具体的なテーマ



受験

転職

引越

モヨウ
替え



子育てしやすいお部屋をつくろう

子どもが自分でお片づけ
できるようになるには？

子どもが勉強しやすい環境って
どうやってつくる？

夫・妻の趣味の物たち、
どうやって管理しようか？

夫婦が夜に会話を楽しめるようなスペースって
つくれるかな？

パパを巻き込むことで
家庭生活への自覚が高まる

話し合い

コミュニ
ケーション

協同作業

役割

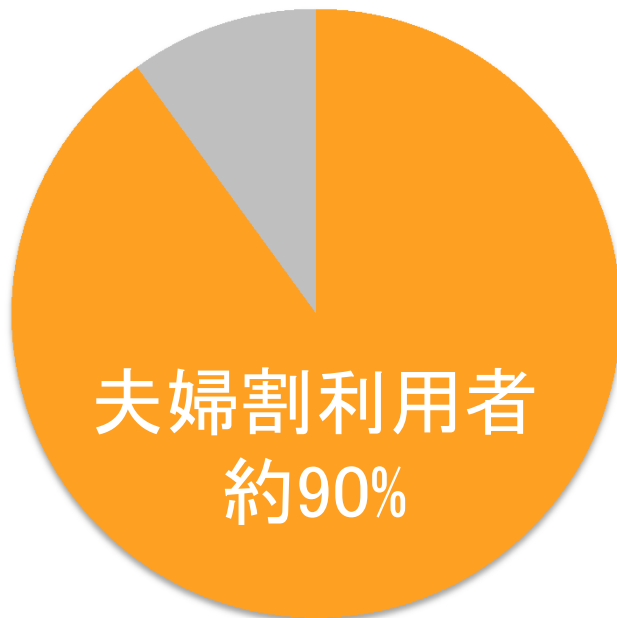
達成感

自負

家庭への
愛着

自覚

夫婦割制度でパパを巻き込む



■夫婦割

夫婦で一緒にコンサルティングを受けることで20%の割引

夫婦での話合いの場を作る事ができています。

子育て家庭のモヨウ替え

モヨウ替えでパパとの家事シェアを促進



パパに朝ごはんを作ってもらいたい

パパは料理が苦手



保育園の準備もしなくちゃいけないし



パパが保育園の準備を完璧にできるようにしよう！

子育て家庭のモヨウ替え

リビングに保育園グッズをまとめたキッズスペースを準備



子育て家庭のモヨウ替え

モヨウ替えが夫婦コミュニケーションのきっかけとなり
夫婦の中に溜まっていた家事育児の不満と
向き合い、解決する手助けとなっています。

お客様のアンケートより

収納や動線を整えることで、いわゆる家事にかかる時間が短縮できるうえに、
家族で共有しやすくなることで、雑務と考えがちな家事ですら、一緒に楽しむ作業にしていけました。

夫婦の考え方や自分の求めるものなど、
頭の中の整理にも大変よいきっかけになりました。

家族の絆が深まりました。

見るからに居心地が良さそうになり、本人も意識が変わって、もうすこし変えてみたい、と言っていました。
娘も気に入って、入り浸っています。

第1回男性の暮らし方・意識の変革に関する専門調査会

男性が能動的に家事育児に
関わるためにできること

子育て世代のパパ・ママに対して

■パパに対して

家庭にコミットできる時間を増やす

■ママに対して

女性が負い目を感じずに家事育児を
委ねることができる意識改革

次世代の育成

■学生に対して

共働き家庭の実情を体験する

→事例: manma

■子ども達に対して

男女関係なく家事を楽しむ家事教育

→事例: KIDS家事PROJECT

第1回男性の暮らし方・意識の変革に関する専門調査会

家族留学のmanma

子育てと仕事、どうやって両立してるの？
次世代に子育て経験を伝えてみませんか？

manma

家族留学

女子大生が
共働きのパパ・ママ家庭を1日訪問



※manmaホームページより抜粋

女子大生を中心とするブレママ・ブレバ

tadaima!

25

第1回男性の暮らし方・意識の変革に関する専門調査会

KIDS家事PROJECT



親子で学ぶ家事教育講座

男女関係なく子供の頃から家事に親しんでおく必要があります。



子ども達が大人になった時、
今の子育て世代と同じ課題を抱えないために。